

三軒茶屋駅周辺まちづくりの検討状況について

1 主旨

三軒茶屋駅周辺においては、広域生活・文化拠点として、にぎわいと活気に満ちた魅力ある拠点づくりに取り組んでいる。一方で、公共的な滞留空間の不足や、歩道が狭いなど、さらなるにぎわいや交通結節機能などを備えた拠点を目指す上で課題を抱えている。こうしたことから、平成31年3月に三軒茶屋のグランドデザインとなる「三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針」を策定した。

この方針を踏まえ、区民、事業者など様々な主体が連携してまちづくりに取り組むため、学識経験者等で構成する「三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会」(以下「検討委員会」という)や、まちづくりの気運醸成を図るため「三軒茶屋駅周辺まちづくり会議」(以下「まちづくり会議」という)を設置し、(仮称)三茶のミライ(基本計画)の策定に向けて検討を進め、「三軒茶屋駅周辺まちづくりシンポジウム」などを開催してきた。

現在、コロナ禍に置かれた環境変化などを踏まえ、検討委員との意見交換等において、基本計画策定に向けた検討を重ねており、この間の検討及びまちづくりPRコーナーの設置の状況、また、「まちづくり会議」の開催について報告する。

2 これまでの経緯

平成31年	3月	三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針策定
令和元年	7月	都市整備常任委員会(検討委員会設置等の報告)
	8月	第1回検討委員会(検討体制、まちづくり会議)
	10月	第1回まちづくり会議(区民等ワークショップ)
	11月	第2回まちづくり会議(区民等ワークショップ)
	12月	第2回検討委員会(シンポジウム、進め方) 三軒茶屋駅周辺まちづくりシンポジウム
令和2年	2月	都市整備常任委員会(まちづくり検討状況の報告)
	4月~5月	検討委員会委員意見交換
	6月	第3回検討委員会((仮称)三茶のミライ(基本計画)検討)
	7月	まちづくりPRコーナーの設置
	9月~10月	検討委員会委員意見交換

3 (仮称)三茶のミライ(基本計画)検討状況

別紙1「(仮称)三茶のミライの検討状況」のとおり

4 まちづくりPRコーナー

(1) 目的

まちづくり活動の内容を地域に発信し、まちづくりの気運醸成を図る。

(2) 設置場所

ふれあい広場内のブースの一部(茶沢通り側)(太子堂2-17)

(3) 設置期間

令和2年7月1日から令和2年7月31日まで

(4) 掲示内容(別紙2「まちづくりPRコーナー掲示内容」のとおり)

三軒茶屋駅周辺まちづくりについて(これまでの参加の取組み等)

(5) 周知方法 区ホームページ、facebook、twitter

5 まちづくり会議

(1) 目的

(仮称)三茶のミライ(基本計画)の策定に向け、検討状況に関心を持ってもらうとともに、未来像や未来像実現に向けた取組みなど、これまでの基本計画検討成果を踏まえて、広くご意見をいただき、基本計画素案の作成に生かしていく。
まちづくり活動を行っている団体などを広く周知し、お互いの情報共有や連携につなげ、活動の輪を広げていく。

(2) 予定

開催日 令和3年1月16日(土)

開催方法 オンライン会議(参考「オンライン会議ツールについて」のとおり)
オンラインに不慣れな方のためのサポート体制のある会場を準備する。
参加できない方のために、区説明等については、後日インターネットによる配信及び開催状況をまちづくりニュース等で報告する。

人数 オンライン:100名(参加者自身でパソコン、通信環境等を準備)
会場:20名(生活工房セミナールームキャロットタワー5階)
(会場でのオンライン参加:10名、実施状況の視聴:10名)

応募方法 電子申請、電話またはファクシミリ

内容 以下のプログラムを実施する。

- ・基本計画検討状況及び今後の展望について(区全体説明)
- ・基本計画検討状況を踏まえた参加者との意見交換
- ・まちづくり活動団体等(三軒茶屋駅周辺でまちづくり活動を行っている団体、NPO、事業者)による未来像実現に向けた活動紹介
- ・まちづくり活動団体等と参加者とのまちづくりについての意見交換

6 今後のスケジュール(予定)

令和2年 12月 検討委員会(第4回)

令和3年 1月 まちづくり会議(第3回)

2月 都市整備常任委員会(まちづくり会議の報告)

3月 検討委員会(第5回)

令和3年度以降 (仮称)三茶のミライ(基本計画)素案説明会・区民意見募集
(仮称)三茶のミライ(基本計画)策定

(仮称) 三茶のミライ (基本計画) 検討状況 (体系)

三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針
(平成31年3月策定)

進化し続ける交流のまち
「三茶」crossing

方針1		
「つたえる」 (まちの個性を継承・強化する)		
方針1-①	方針1-②	方針1-③
共存・MIXを維持する	界わい文化を継承する	コミュニティを維持し強化する
方針2		
「つなげる」 (まちを支えつなぐ)		
方針2-①	方針2-②	方針2-③
シームレスな交通結節点を形成する	出会いと交流の空間を創出する	災害に備え安全・安心と支え合いを育む
方針3		
「はぐくむ」 (魅力を育て機能を高める)		
方針3-①	方針3-②	方針3-③
「暮らす」と「働く」を両立する	人を呼び込む魅力をつくる	まちの機能をバランスよく高める

三軒茶屋駅周辺まちづくり会議・シンポジウム

【第1回三軒茶屋駅周辺まちづくり会議】
開催日時：令和元年10月26日 12時30分～16時00分
内 容：「三軒茶屋の魅力を知ろう・語ろう！」ワークショップ
参加人数：76名

【第2回三軒茶屋駅周辺まちづくり会議】
開催日時：令和元年11月9日 13時00分～16時00分
内 容：「三軒茶屋の魅力や未来を描こう！」ワークショップ
参加人数：59名

【三軒茶屋駅周辺まちづくりシンポジウム】
開催日時：令和元年12月22日 13時00分～16時00分
内 容：「みんなで考える三軒茶屋の「ミライ」」
参加人数：98名

三軒茶屋駅周辺まちづくり会議等から得られたまちの特色や意見

- にぎわいのある商店街や若者に人気が高い店舗など、人を惹きつける商業がある
- 商店街や個性的な店舗などの魅力の継続・創出が必要である
- パブリックシアターや大道芸などの創造的な文化や芸術、江戸期から交通の要衝として栄えてきた歴史がある
- 日常的に文化芸術に親しむ機会の創出が必要である
- 三軒茶屋の歴史、文化施設などの活用が必要である
- 様々な要素がバランスよく共存しており、訪れる面白さと住むための快適さを備えている
- 商店街、町会・自治体、まちづくり協議会、近隣大学など地域による活力あるコミュニティが存在している
- まちの持続可能性とまちの個性の共存が必要である
- 鉄道、バスなど交通の便がよく、交通の結節点となっている
- 公共的な空間や動線の創出と活用が必要である
- 平時からの防災、安全対策の促進が必要である
- 見守り活動の継続や交通事故ゼロ運動などが中心の活動・取り組みが必要である
- 世田谷公園、烏山緑道などの緑地が点在している
- 様々な空間への緑の創出が必要である
- 働く選択肢を増やす機能の創出や企業の誘致が必要である
- 美観活動のルールづくりや活動が必要である
- 三茶の魅力を生かしたまちなか観光の活動・取り組みが必要である
- 公共的な機能や交流の場の創出が必要である
- まちづくりに参加できる機会・場の創出、継続的なまちづくり活動の促進が必要である。

(仮称) 三茶のミライ (基本計画)
9つの未来像

- 個性豊かな店が通りを彩るまち
方策1-① 方策1-②
- 歴史を継承しアートを生み出すまち
方策1-② 方策3-②
- 暮らしの近くに「働く」があるまち
方策3-① 方策3-③
- 拠点性を活かして人々の活動を支えるまち
方策2-② 方策3-②
- 誰もがまちづくりに関われるまち
方策1-③ 方策3-①
- 暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち
方策1-① 方策1-③
- くつろぎの空間が育まれるまち
方策2-② 方策3-③
- 誰でも気軽に出かけられるまち
方策2-① 方策2-②
- 災害に強く、安全・安心のまち
方策1-③ 方策2-③

(仮称) 三茶のミライ (基本計画) 検討状況

9つの未来像	未来像が実現したまちのイメージ	未来像実現のための取組
個性豊かな店が通りを彩るまち	個性豊かな店舗が通りを彩り、界わい性を育んでいる。様々な事業者や商店等が連携することによって新たな魅力を生み、まちの活気が継続している。	作 業 中
歴史を継承しアートを生み出すまち	次世代に誇れるまちの歴史や文化が継承され、その魅力が世界中に発信している。文化施設を社会基盤として支えていくことで、作り手が集う場所が用意され、新たなアートや文化が育まれている。	
暮らしの近くに「働く」があるまち	暮らしの近くで様々な働き方ができる環境があり、そうした場所に人が集まり、活気づいている。起業・創業への後押しが、人々を呼び込み、新たなビジネスチャンスが生まれている。	
拠点性を活かして人々の活動を支えるまち	古くからの街道の分岐点であることや公共交通が充実している利便性を活かし、公共サービスを始めとした拠点ならではの機能が集約され、様々な人々の活動を支えている。	
誰もがまちづくりに関われるまち	まちにいる人々が主体的にまちづくりに参加し、まちを育てていける仕組みがあり、始める、支える、賛同する等、様々な形でまちづくりに関われる機会が提供されている。	
暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち	多様な暮らしが重なり合う中で、助け・支え合い、相互理解を深めながら、お互いを尊重し合う関係性が生まれている。こうした包容力が地域内外でのさらなる交流を生み出している。	
くつろぎの空間が育まれるまち	まちなかに広がる公共的空間が居心地の良い場所を生み、まちを繋いでいる。駅周辺は清潔感にあふれ、まち並みとみどりが調和し、人々の愛着心を育んでいる。	
誰でも気軽に出かけられるまち	地上や地下に広がる複層的なまちなかを行き来できる等、誰もが行きたいところに安心して、移動ができている。公共交通や自転車、新たなモビリティ等の様々な移動サービスが連携し、利用や乗り換えが快適になっている。	
災害に強く、安全・安心のまち	まちに関わる多様な人々が連携できる共助による防災や防犯に対する体制が整っている。建物の不燃化、耐震化、防災空間の充実等により、防災性が向上している。	

まちづくりPRコーナー掲示内容



○ 三軒茶屋駅周辺でまちづくりの取組みがスタート！

三軒茶屋駅周辺は、個性的な飲食店が立ち並び一方で、古き良き商店街のまちなみが続くなど「トレンド」と「レトロ」、それぞれの魅力を活かしながら発展してきました。そんな「三茶」の駅周辺エリアで今、新たなまちづくりの取組みを始めようとしています。今ある「ちょっと困った」が「いいな」に、「いいな」が「もっといいな」になるよう、ハード・ソフトの両面から「三茶」がさらに楽しいまちになることを目指します。そんな、まちづくりを進めるにあたり、三軒茶屋駅周辺まちづくり会議を設置しました。まちづくり会議では「三茶」に関わる皆さんと一緒にまちのミライを考えていきます。

○ まちづくり会議ってどんなことをしているの？

まちづくり会議の目的は？

三茶に関わる様々な人たちと、連携したまちづくりを進めるための機運を醸成するとともに、まちづくりを考え、取組むきっかけづくりを目的としています。

どんな取組みをしているの？

ワークショップやシンポジウムを通じて、参加者同士で意見交換をしたり、有識者の知見なども活かしながら、三軒茶屋の魅力や将来のあり方などを考えています。

どんな人たちが参加しているの？

三軒茶屋に住む方だけではなく、近隣在住、通勤・通学、三茶が好きな人など、多様な人たちが参加しています。年齢も10代の学生から80代の高齢者まで幅広い構成です。

会議の結果はどうなるの？

ワークショップの結果等を踏まえ、今後の連携したまちづくりを進めていくための「(仮称)三茶のミライ(基本計画)」策定に活かします。

○ まちづくりの検討体制

三軒茶屋駅周辺まちづくりは、有識者や地域関係者などで構成する「三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会」や区民・事業者が幅広くまちづくりに参加する組織「三軒茶屋駅周辺まちづくり会議(プラットフォーム)」と世田谷区が連携を図りながら進めていきます。



○ まちづくりシンポジウム 12.22(Sun)

昭和女子大学学 園本部 館

本シンポジウムは、三茶のまちづくりの機運を高めていくため、様々なバックグラウンドを持つ有識者、区民、商店街、事業者等と一緒に考えていく場として開催しました。年末かつ冷たい雨が降る日にもかかわらず、98名の方が集まりました。

基調講演では「株式会社マガジンハウス」にて地域に特化したWEBメディア“Colocal”の統括プロデューサーを務める及川卓也氏が登壇しました。



プログラム

- ・基調講演
「メディアから見た“三茶”のまちの魅力と課題」
- ・三軒茶屋のまちづくり
世田谷区による取組み報告
- ・トークセッション
7名によるパネルディスカッション

及川氏は“三茶”をキーワードに、マガジンハウスで出版した過去数十年分の雑誌記事を独自に調査。一人暮らしのしやすさ、下町っぽさとおしゃれさ、飲み屋や路地の魅力、アットホームさなど、時代とともに移り変わる三茶の姿を振り返りました。

「三茶を起点に、まちにあるものを生かしながら、住む人と訪れる人という枠を超え、多様な人が参加するまちづくりをしていくと、非常に面白いのではないか」というメッセージを投げかけました。

トークセッションは、区長・有識者、三茶周辺でまちづくりに取り組む事業者など7名が登壇し「三軒茶屋の魅力と課題」についての意見交換や「クロストーク」を展開しました。

クロストークでは、まちづくり会議で挙げた主なテーマ及び会場からの意見を「暮らし・環境」「商い・ビジネス」「基盤・交通・インフラ」に分類。それを踏まえ、変わってきたこと、変えるべきこと、変えずに残すことなど、あたたかくも鋭いコメントが飛び交い、熱い空気の中シンポジウムは幕を閉じました。



ワークショップ



シンポジウム



説明会



意見募集

今後の動き

まちづくり会議の場で皆さんからいただいたご意見などを参考にしながら、実際の取組みとして整理できるよう検討を進めていきます。引き続きこの活動の進捗を区広報などを通してお届けしていきたいと考えております。

一緒に三茶のミライをつくりませんか？

「三軒茶屋駅周辺まちづくり」

あなたの参画をおまちしています！

【お問い合わせ】

都市整備政策部

市街地整備課

TEL : 03-5432-2556

FAX : 03-5432-3055

オンライン会議ツールについて

令和3年1月16日のまちづくり会議は、下記オンライン会議ツール「Remo conference (リモカンファレンス)」を活用して開催します。

1 Remo conference (リモカンファレンス) とは

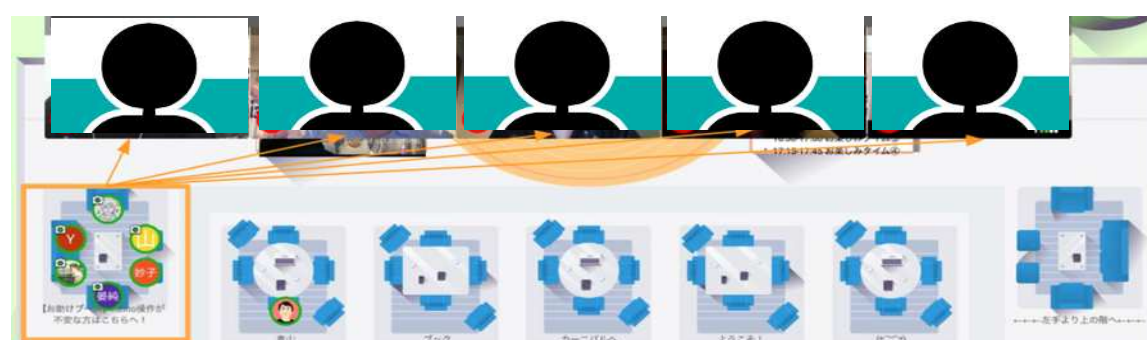
- ・アメリカ発、コロナ禍で注目を集めたWEB会議ツールの一つ
- ・定員が6人の部屋が1画面の中に19室あり、参加者はインターネットを使用して、各部屋を自由に行き来することが可能
- ・1部屋につき、会話のテーマなどを決め、1出展者が着席することで、参加者が好きな部屋に入って出展者と直接会話が可能
- ・部屋の中の会話は、部屋にいる人にしか聞こえない
- ・多くの人と入れ替わり立ち代わり会話をすることができる

2 使用時のイメージ

(1) 会場イメージ



(2) 部屋内での会話イメージ



(3) 全体配信時イメージ (参加者全員が同じ画面を見る場合)



3 一般的なオンライン会議ツールとの違いについて

- ・参加者は話したい出展者のブースを主体的に選び、直接会話を楽しむことができる
- ・部屋の定員が6人のため、常に少人数でのグループ対話をする環境が構築され、出展者、参加者同士の距離を縮めることができる

4 期待される効果

- ・普段なかなか接点をつくることのできない、参加者と出展者（まちづくりの主体者）の自然な出会い・会話の場をオンラインでも創出することができる
- ・限られた時間の中で、参加者が主体的にいろいろな部屋（出展者のブース）を回ることで、まちづくりの意識醸成や新たな関係性を構築することができる
- ・まちづくりという身近なテーマを通じて、オンライン会議ツールを使用する場を提供し、新しい交流のあり方を考える機会を提供できる